

政 務 活 動 費 収 支 報 告 書

4 年 3 月 3 / 日

津山市議会議長 殿

津山市議会議員 政 岡 哲 弘

津山市議会政務活動費の交付に関する条例第5条第1項の規定により、交付を受けた政務活動費について、下記のとおり報告します。

記

1 収 入

政務活動費の総額 600,000 円

2 支 出

項 目	支 出 額	備 考
調 査 研 究 費 要 請 ・ 陳 情 活 動 費	0 円	
研 修 費 会 議 費	0 円	
広 報 費	652,560 円	議会報告
広 聴 費	0 円	
資 料 作 成 費	0 円	
資 料 購 入 費	0 円	
人 件 費	0 円	
事 務 所 費	0 円	
合 計	652,560 円	

(注)備考欄には、主たる支出の内訳を記載すること。

3 残 余

政務活動費の総額—支出の総額 600,000 — 652,560 = -52,560 円

費目別一覧表

費目名 3. 広報費

年 月 日	支 出 内 容	支 出 額	備 考
21 6 29	議会報告25号作成	82,500 円	3500枚
21 7 30	議会報告24・25号送付費	161,952 円	1928枚
21 9 25	議会報告26号作成	82,500 円	3500枚
21 12 17	議会報告27号作成	82,500 円	3500枚
22 1 5	議会報告26・27号送付費	160,608 円	1912枚
22 3 30	議会報告28号作成	82,500 円	3500枚
		円	
		円	
		円	
		円	
		円	
		円	
		円	
		円	
		円	
		円	
		円	
		円	
		円	
		円	
		円	
		円	
		円	
		円	
		円	
		円	
		円	
合 計		652,560 円	3月31日現在

※費目ごとに各支出伝票を整理し、その表紙としてご活用ください。

様式第3号 (第3条関係)

支 出 伝 票

支出日	令和 3年 6月 29日		
費 目	1. 調査研究費、要請・陳情活動費 2. 研修費、会議費 3. 広報費 4. 広聴費 5. 資料作成費 6. 資料購入費 7. 人件費 8. 事務所費	金 額	82,500 円

支出内容	議会報告 No.25 (3,500 枚)
------	----------------------

領収書等貼付欄 (支払証明書等は裏に添付のこと)

領 収 証 RECEIPT	No. 010193	
	2021年6月29日	
政 同 哲 弘 様		
金 額	百万 千 円	<input checked="" type="checkbox"/> 現金 <input type="checkbox"/> 小切手
	4 8 2 5 0 0	
但し 議会報告 No.25, 3,500枚 広報費 上記の金額正に領収いたしました		
		取扱者
有限会社 片山印刷所		
〒708-0042 岡山県津山市新芝町8番地 TEL (0863) 22-4229(代)		

津山市議会議員

政岡あきひろ

議会報告

津山市の皆様には議会活動などをわかりやすく報告し、市政に関心を持っていただくために発行しています。この報告紙は政務活動費で発行しています。



（い）あいさつ

津山市民の皆様、日頃より大変お世話になっております。「政岡あきひろの議会報告」第二十五号が出来上がりましたので、ご覧いただきたいと思っております。

毎回申し上げておりますが、この議会報告は一年に四回開かれる津山市議会の開催ごとに作成しています。新聞や広報誌、或いはYouTube等の議会中継などでは伝えられない、生の津山市議会の状況や、私の議員としての活動について、なるべくわかりやすくお伝えしたいと



考えています。そのような点についてご理解をいただきながら、お読みいただければ幸いです。

議会構成

さて今回は、六月定例会のご報告の前に、五月に開かれた臨時会のご報告をする必要があると思っております。

概ね、どの自治体でも同様だと思えますが、津山市議会においても任期の中間（二年が経過した時点）で議長・副議長の交代が行われます。また、これに併せて常設委員会の委員長など、議会内における役員が交代することになります。また、そのことを行うためだけに五月に臨時議会が開かれます。今回は、五月十一日に開会されました。

例えば、どのような組織でも、組織というものがあれば役職があります。そして、役職があればその地位に就きたがる人は必ずでてきます。一方で、私は、

その役職について何をやりたいのかということの方が、先にあるべきだと考えています。むしろ、志なくして立つべきではないという考え方です。

しかしながら、議会というところではポストを巡って、一般常識では測れないような駆け引きが行われることもよくあります。

私も、六年前の初当選の時からこの場所に身を置き、この度で三回目の議会構成を体験しました。それでも、イデオロギーや政治信条などとは関係なく展開される、虚々実々の多数派工作の有り様には未だに領けない部分があります。

それでも、私が二期目の議席をいただいた前回あたりから、多少その様子が変わってきたように思っています。その理由の一つとして、私達が結成した会派未来の存在があります。

私達は、前回の議会構成に臨む時から、本来の議会人としての姿勢を示すために、自らの主義主張や意思の統一化を図り、その理念によって行動することを中心としました。

結果的に、前回の議長選に際しては大きな成果は得られませんでした。我々の存在は一石を投じたこととなり、存在感は確実に高まったと思えます。

今回も、我々は「保守派」としての矜持を保ちながら行動することを貫きました。結果は、必ずしも意図したものではありませんでしたが、正当な議会構成を主導する流れを作れたと思います。また、会派の目標としていた副議長のポスト獲得と、議会改革などにおいて積極的な議論を主導していく為に必要なポストを得ることができました。

詳細については、広報誌などでご確認いただければと思います。議会構成では議長・副議長以下、議会運営を司る議会運営委員会の正副委員長、常設の総務文教・厚生・産業・建設水道委員会の正副委員長、さらには広報・議会活性化調査・高等教育機関のあり方調査特別委員会の正副委員長の選出が行われます。

先程も述べましたが、私は、それらの役職について何がやりたいのか、或いは何をすべきかが先になければならないと考えています。とはいえ、結果的には議会運営委員会の副委員長、高等教育機関のあり方調査特別



▲裏面に続く

会派未来

発行 政岡あきひろ事務所
活気ある津山へ 未来志向改革!!

〒708-0014 津山市院庄 621-2
Tel. 0868-28-0501 Fax. 0868-28-4437
E-mail masaokape@ebony.plala.or.jp

市議会の内容は津山市役所ホームページから配信しております。
URL <https://www.city.tsuyama.lg.jp/city/index2.php?id=392>

委員会の委員長、建設水道委員会の副委員長の職に就くことになりました。

簡単に説明しておきますと、議会運営委員会は議会運営に関する事項を審議する委員会です。極めて重要な委員会です。また、高等教育機関のあり方調査特別委員会は、そもそも私達の会派が立ち上げた勉強会が下地になってできた委員会ですから、公立大学の設置を含めてしっかりと議論を進めていかなければなりません。一方、建設水道委員会については、津山市議会にある四つの常設委員会全てを経験する為には八年かかりますので、二期目の後半となる今回、建設水道委員会に所属することとしました。

改めて、責任の重さを痛感しています。夫々の場所において、津山市の将来に資するための議論をしっかりとしていきたいと考えています。

質問内容

この六月議会では、まず、現在のコロナ禍への対応と収束後を見据えた、次世代に資するための持続可能なまちづくりのあり方について市長の考え方を質しました。このことは、登壇の度に質問しているようなところがあります。常に変化する社会情勢をタイムリーに捉え、的確な施策実施をしていく必要があります。



それから、先日社長の辞任に関する記事が新聞報道された地域商社「曲辰」に関して、事態の経緯と今後の体制や速やかな善後策への取り組みの必要性について農林部長と議論を深めました。

さらには、先頃本庁の三階に移転した地域づくりサポートセンターの状況や方向性を切り口に、真の意味で自立した地域住民自治活動のあり方や支援策に関する議論を地域振興部長と行いました。

そして、そのような住民自治活動の維持・増進を支え、持続可能な本市のまちづくりを担う人材を確保するためにも重要な施策である、移住・定住の促進策に関しても効果的な施策実施のあり方を探るための議論を深めました。

市長及び執行部の答弁内容

市長からは、現在緊急事態措置より感染者数は減少しているが、

岡山県とも連携し、ワクチン接種を円滑かつ迅速に進めるなど、状況を細かく見極める確かな対応を図り、感染症対策に努めたいという答弁をいただきました。

さらに、コロナ禍収束後をみつめ、低迷した経済の回復に向けた対策を行い「新たな日常」に適応し、持続可能で地域循環型の経済や社会の促進に向け、適宜政策の見直しを行い、スピード感を持って取り組んでいく覚悟も示していただきました。

地域商社「曲辰」に関する質問では、市長から速やかな事態の收拾と新たな体制の構築によって、農業生産者の所得向上を実現し、地域の農業を持続可能で強い産業にしたいという答弁がありました。

また、住民自治の支援に関しては、地域の特性を活かした主体的な取り組みによるコミュニティ機能の維持・向上を図るため、人づくり・まちづくりに必要な支援を行っていくという答弁がありました。

さらには、移住定住の促進を図るために、移住者への手厚い支援体制と人的ネットワークの構築を図り、きめ細かい支援を心がけていくという答弁もありました。

終わりに

今回は、未だに収束の兆しが見えないコロナ禍における、積極的な感染防止対策と経済対策

の必要性を訴え、併せて持続可能なまちづくりに資するための質疑を行いました。

また、市民の皆様にはあまり馴染みのない議会構成に関するお話もしました。かつては、「衆楽座猿芝居」といわれるような、ポストを巡る駆け引きが行われていたという話もありますが、現在では、随分シンプルなものになったと思います。しかしながら、依然として単に役職を得たいためだけの行動も見受けられます。

今後においても、皆様方からいただいた負託にこたえられるよう、しっかりと改革に取り組んでいく覚悟です。お気軽にご意見等、お聞かせいただければ幸いです。今後とも、ご指導ご鞭撻よろしくお願ひ致します。



未来派会

舌気ある津山へ
未来志向改革!!

発行 政岡あきひろ事務所 Tel. 0868-28-0501
〒708-0014 津山市院庄 621-2 Fax. 0868-28-4437
E-mail masaokape@ebony.plala.or.jp

市議会の内容は津山市役所ホームページから配信しております。
[URL] <https://www.city.tsuyama.lg.jp/city/index2.php?id=392>

右記 QR コードから入る事ができます。➔



支 出 伝 票

支出日	令和 3年 7月 30日		
費 目	1. 調査研究費、要請・陳情活動費 2. 研修費、会議費 3. 広報費 4. 広聴費 5. 資料作成費 6. 資料購入費 7. 人件費 8. 事務所費	金 額	161,952 円

支出内容	議会報告 No24・No25 (1,928 枚) 送信費
------	------------------------------

領収書等貼付欄 (支払証明書等は裏に添付のこと)

領 収 証

政岡あきひろ様

No. _____

金額

¥161,952-

但

1928枚分として

内 訳

現金

小切手 /

手形 /

消費税額等 (%)

2021年 7月 30日 上記正に領収いたしました

津山市院庄954
 院庄簡易郵便局
 電話 0868 (28) 1996
 郵便番号 708-0014



領収書

第 190694-21 号

おなまえ	政岡 あきひろ 様		<領収内訳>	<備考>
受領金額	百万	千	現金	円
	¥ 16 / 952		小切手	円
	内消費税額		切手	円
		円	証紙	円
			キャッシュレス決済	円
			(決済ブランド名:)	円

※ 金額欄を訂正しているものは無効です

		お取引の内容	
郵便	切手・葉書・印紙・販売品の販売	1種定形 (@ 84円) × 1928	(枚・個・通・件)
	郵便料金の収納	(@ 円) ×	(枚・個・通・件)
	別納 計器予納金 受取人払 着払 その他()	(@ 円) ×	(枚・個・通・件)
		(@ 円) ×	(枚・個・通・件)
		(@ 円) ×	(枚・個・通・件)
貯金			
保険	保険料の払込み	保険証券(書)の記号番号	払込期間及び払込月数
		年 月 日から 年 月 日まで 年 月 分	年 月 日から 年 月 日まで 年 月 分
物販等	店頭販売商品の販売 カタログ販売 その他()	(申込書番号)	

上記の金額を、確かに領収いたしました。

2021 年 7 月 30 日

日本郵便株式会社

(所在地: 東京都千代田区大手町2丁目3番1号)

取扱郵便局

院庄簡易郵便局 郵便局

電話番号

0368-23-1996

取扱者氏名



【郵便局】
収入印紙

課税相当額
以上貼付

取扱者
印

※ 裏面の「ご注意」欄をご確認ください。

第 190694-21 号




様式第3号 (第3条関係)

支出伝票

支出日	令和 3年 9月 25日		
費目	1. 調査研究費、要請・陳情活動費 2. 研修費、会議費 3. 広報費 4. 広聴費 5. 資料作成費 6. 資料購入費 7. 人件費 8. 事務所費	金額	82,500 円

支出内容	議会報告 No.26 (3,500 枚)
------	----------------------

領収書等貼付欄 (支払証明書等は裏に添付のこと)

領収証 RECEIPT	No. 010303	
	R3 年 9 月 25 日	
政岡哲弘 様		
金額	百万 千 円 4 8 2 5 0 0	現金 小切手
但し 議会報告 vol.26 : 3,500枚 印刷代 200円 上記の金額正に領収いたしました		
		取扱者 
有限会社 片道印刷所 〒708-0042 岡山県山形郡笠岡18番地 TEL (0868) 22-4229(代)		

津山市議会議員

政岡あきひろ 議 会 報 告

津山市の皆様には議会活動などをわかりやすく報告し、市政に関心を持っていただくために発行しています。この報告紙は政務活動費で発行しています。



いあいさつ

津山市民の皆様、お世話になっております。「政岡あきひろの議会報告」第二十六号が出来上がりました。ご覧いただきますよう、お願いいたします。

この議会報告は、一年に四回開かれる津山市議会の開催ごとに作成しています。新聞や広報誌、或いはユーチューブでは伝えられない、生の津山市議会の様子や、私の議員としての活動について、なるべくわかりやすくお伝えするために作成しています。そのような点を汲み取って、お読みいただければ幸いです。



市長の出馬表明

さて、すでに新聞報道などでご存じの方も多いかと思いますが、この九月議会では、現職の谷口市長が来年二月に改選される市長選挙への出馬を表明されました。

このことは、津山市議会における慣例に従ったものです。通常、次期市長選挙に立候補する意思がある現職市長は、選挙前年の九月議会でその意思を表明することが慣例となっています。これに倣い、本九月議会の冒頭において、現職の谷口市長が次期市長選挙への出馬を表明しました。

振り返りますと、谷口市長は就任と同時に様々な改革に着手され、その成果が見え始めた矢先に、西日本豪雨災害への対応を迫られるというスタートでした。また、ようやくその災害の傷跡が癒えようとしていた昨年当初から、未だ収束が見えない

いコロナ禍への対応にあたる日々となりました。

それでも、「津山動く」のキャッチフレーズのもと掲げられた津山八策を指針に、精力的に行財政改革に取り組みました。その成果として、一例ですが農林部設置による儲かる農業を目指した津山地域版農業ビジネスモデルの策定（具体的には、地域商社の発足）やサマーレビューによる行財政改革・財源確保、さらには機構改革の断行などが挙げられます。

また、前述した災害対応では、浸水対策を最優先とし、ポンプゲートの完了年度を五年前倒しし、本年度の「昭和町ポンプゲート」で計画をすべて終了することができました。

一方で、未だ収束が見えないコロナ禍への対応では、いち早く企業回りなどクラスター対策を実施しました。また、医師会をはじめとする関係機関と緊密な連携を図りながら、県・国とのパイプを活かし、大規模接種会場のワクチン（モデルナ社製八千四百人分）を他都市に先駆けて確保しました。

その成果として、津山市のワクチン接種率は九月五日時点で一回目七十一・二％（岡山県平均五十二・六％）、二回目五十七・八％（同四十三・九％）を達成し、一回目で約十九ポイント、二回目で約十四ポイント県平均を上回っています。

残念ながら、クラスターなどの事例も見られますが、ここまでの新規感染者数は九月八日時点において岡山県全体が一万四千三百七十三例で、そのうち本市が四百二十例となっています。これを人口比で見ると五・三％に対して二・九％となり、抑制されているといえます。

一方、様々な改革への取り組みは災害やコロナ禍への対応もありこれらが重要になります。

質問内容

私は、以上のことを踏まえ、谷口市長の就任からここまでの取り組みに関する成果と評価について質し、今後への思いも尋ねました。

さらに、例えば先ほど述べたコロナ対応に関する一つ一つについても、そのことを知らない市民の方があまりに多い点を指



▲裏面に続く

未来志向派

発行 政岡あきひろ事務所
活気ある津山へ 未来志向改革!!

〒708-0014 津山市院庄 621-2
Tel. 0868-28-0501 Fax. 0868-28-4437
E-mail masaokape@ebony.plala.or.jp

市議会の内容は津山市役所ホームページから配信しております。
URL <https://www.city.tsuyama.lg.jp/city/index2.php?id=392>

摘し、施策実施に関する効果的なアピールのあり方についても市長及び執行部を質しました。

このことに関しては、一つにはトップがメディアなどを効果的に使い、広く情報発信をしていくことが考えられます。例えば、他都市の首長などがテレビなどマスコミを上手く使っている様子を見ると、本市においても取り組んで欲しいと思うのは人情です。

私は、そのことも提言しましたが、実はもっと大切なことがあると考えています。それは、いわゆる口コミというのか、静かではあります、着実に市民に浸透していく方法があると思います。

それは、トップが真にこのまじのことを考え、市民によりそう気持ちを持って施策実施に臨む姿勢を示し、職員全体がそれを十分に理解したうえで、日常の業務に真摯にあたる姿勢を市民に示すことです。

そうした職員の誠意ある姿勢に触れた市民を通して、自然な形でトップの思いが伝わっていくことが期待できると思います。このような下地をしつかり築きながら、例えば前述したコロナワクチン接種に関する情報などをタイムリーに提供することにより、多くの住民への周知がスムーズに行えるはずで

つまり、職員の資質向上と意識改革は、効果的な情報の発信



にも結び付くものなのです。もちろん、行財政改革の取り組みを推進するためにも、そうした人材教育と意識改革は極めて重要です。私は、このことを強く市長及び執行部に促しました。

一方で、私は、市民の中に高い住民意識の醸成を図ることの大切さを繰り返し述べています。それは、どのようなことをするにも人が大切であり、人が良くなければ何事も上手くいかないと考えざるを得ません。

そのことは、私が長年に渡る自治会活動などの取り組みを通して、つくんだ実感です。また、自治体が進める効果的な施策が成功している地域では、必ずといって良いほど、郷土愛と高い倫理観を備えた住民自治組織が形成されています。

私は、そのような「故郷を愛し協調性のある人」を育てるためには、まず郷土のことを知り学ぶことが大切であると考

います。そのうえで、「いい時期から地域行事に積極的に参加し、伝統文化に触れることが重要です。さらには、そのような取り組みが、結果的には学力の向上にも結び付くと考えられます。

まずは、津山の財産である豊かな歴史・文化についてしっかりと学んでもらう必要があると思います。そのための施策の一つとして、津山洋学資料館に小学生の間は、毎年見学に訪れることを提案しました。

答弁内容

市長からは、就任以来これまでの行財政改革への取り組みや成果、今後への思いに関する答弁がありました。併せて、緒に吐いたばかりともいえる行財政改革への取り組みに、引き続き先頭に立っていききたいという覚悟が示されました。

教育長からは、本市教育の使命の一つはふるさと津山に誇りと愛着を持ち、地域社会に貢献できる人材の育成であるとし、「人づくりは、まさに地域づくりの土台である」との考えが示されました。

そのうえで、子ども達が幼少期から地域の様々な行事や人との交流等を通して、地域の人に認められることにより、生活や学習意欲への自信を深めることが、高い住民意識の醸成につながるものと確信している、という答弁をいただきました。

終わりに

今回は、人づくりの大切さを訴え、職員の資質向上と意識改革による情報発信の可能性や、高い住民意識の醸成を図るための郷土教育のあり方について議論を深めることができました。洋楽資料館については、一律に毎年見学するまではいきませんが、IC T機器の活用で教室と結ぶことにより、歴史文化施設に子供たちが親しみやすくするための取り組み方針が示されました。

これからも、市民の皆様を思いを形にし、津山の明るい未来を築くための施策実施に、精一杯取り組んでいくつもりです。今後とも、ご指導・ご鞭撻よろしくお願いいたします。



未来志向改革

活気ある津山へ
未来志向改革!!

発行 政岡あきひろ事務所 Tel. 0868-28-0501
〒708-0014 津山市院庄 621-2 Fax. 0868-28-4437
E-mail masaokape@ebony.plala.or.jp

市議会の内容は津山市役所ホームページから配信しております。
URL <https://www.city.tsuyama.lg.jp/city/index2.php?id=392>
右記 QR コードから入る事ができます。→






様式第3号 (第3条関係)

支出伝票

支出日	令和 3年 12月 17日		
費目	1. 調査研究費、要請・陳情活動費 2. 研修費、会議費 3. 広報費 4. 広聴費 5. 資料作成費 6. 資料購入費 7. 人件費 8. 事務所費	金額	82,500円

支出内容	議会報告 No.27 (3,500枚)
------	---------------------

領収書等貼付欄 (支払証明書等は裏に添付のこと)

領収証 RECEIPT	No. 010329	
	R3年12月17日	
	政岡哲弘 様	
	金額	百万 千 円 9 8 2 5 0 0
		現金 小切手
	但し 議会報告 Vol.27 3,500枚 印刷代 上記の金額正に領収いたしました	
	有限会社 片山印刷所	取扱者
	〒708-0042 岡山県津山市新町8番地 TEL (0868) 22-4229(代)	

津山市議会議員

政岡あきひろ

議会報告

津山市の皆様には議会活動などをわかりやすく報告し、市政に関心を持っていただくために発行しています。この報告紙は政務活動費で発行しています。



いあきひろ

津山市民の皆様、あけましておめでとうございます。旧年中は、大変お世話になりました。本年も、よろしくお願いいたします。

また、一年に四回開かれる津山市議会本会議が終わる度に作成しております「政岡あきひろの議会報告」第二十七号が、出来上がりましたのでご覧ください。

この議会報告は、新聞や広報誌、或いはYouTube等の媒体では伝えられない、生の津山市議会の様子や、議員としての私の活動内容について、わかりやすくお伝えするために作成しています。



質問の項目

さて、令和三年十二月議会では、津山市が将来にわたり県北の拠点都市として輝き続けるための、施策実施のあり方を中心に質問しました。

RX(地域のトランスフォーメーション)という経産省による取り組みを示し、津山市独自の施策をよその都市に先駆けて、実施していくことの大切さについて、市長及び執行部を質しました。

さらに、そのために必要な行政の機構改革や人材育成のあり方と、地域と学校が一体となつて取り組む人づくりの大切さについて、教育長及び教育委員会を含めた質疑を行いました。

具体的な内容

RXとは、経産省経済産業局により設立された「スマートかつ強靱な地域経済社会の実現に向けた研究」により提唱され

ている取り組みで、令和三年六月二十四日付で、同研究会による取りまとめが示されています。具体的には、①地域の企業・産業全体におけるDXの促進②イノベーションによる新たな価値の創出③持続可能な地域経済社会への取り組み④地域人材の確保・育成などに、一体的に取り組む考え方です。また、経産省経済産業局の役割として、変革意欲の高い事業者や地方公共団体とこれまで以上に深く連携し、新しい取り組みに果敢に挑戦していくこととしています。

私は、この「変革意欲の高い」という言葉にヒントがあると考えています。先ほど述べた四つのキーワードに基づく高い変革意欲をいち早く国に示し、手厚い支援を受けながら、地域におけるトランスフォーメーション(RX)を推進することを提言しました。

ここで、少し説明をしておきます。私は、以前にもDX(デジタルトランスフォーメーション)に関する質問をしましたが、トランスフォーメーションという言葉は単なる改革ではなく、大きな変革という意味で使われています。

現在、急激に進む地球温暖化や、依然として、収束の目途が立たないコロナ禍などを背景に、世界情勢はより持続可能で公正な経済システムの構築が急務であるとして、既存の手法を大胆に見直すグレートリセットが叫ばれています。

こうした状況下、情報通信をはじめ多様な分野で、大胆な変容や改革が急速に促されています。これに呼応し、自ら大きく変わり改革に臨む動きが、トランスフォーメーションという言葉です。現在では、DX(デジタルトランスフォーメーション)をはじめ、様々な分野で使用されています。

いずれにしても、そうした国や社会の動きを敏感に捉え、支援策や交付金を上手く活用して、津山の将来を支えるエンジンとするために、積極的に取り組んでいくことが大切です。

一方で、国が進める施策を追いかけ、他の自治体と似たような取り組みをなぞっているだけでは、じり貧になっていくことは目に見えています。やはり、他ではやっていない津山市独自の取り組みを先駆けて実施していくことが重要です。

そして、その一つの方向性として、津山が他都市より優位で



裏面に続く

未来派会

発行 政岡あきひろ事務所
活気ある津山へ 未来志向改革!!

〒708-0014 津山市院庄 621-2
Tel. 0868-28-0501 Fax. 0868-28-4437
E-mail masaokape@ebony.plala.or.jp

市議会の内容は津山市役所ホームページから配信しております。
https://www.city.tsuyama.lg.jp/city/index2.php?id=392

あると考えられる、歴史や文化などの地域資源を活かした取り組みがあります。私は、提言したRX(地域のトランスフォーメーション)への取り組みの中で、津山の歴史や文化を活かした新たなビジネスの創出を促進するための環境づくりの必要性を、強く訴えました。

そして、そのような本市独自の施策実施を積極的に行い、目的とする成果を挙げるためには、取り組む行政組織における機構改革が不可欠であるということも提言しました。例えば、優秀な職員が存分に能力を発揮できるように、縦割りを排して効果的なプロジェクトチームが編成できるようにすることなどです。

また、基本的に職員の一人一人が高い規範意識と倫理観を備え、市民のためにフレキシブルに仕事をするような組織作りを目指すことの重要性を訴え、様々な形態の職員教育をはじめとする、行政における人づくりの意義を質しました。

一方で私は、長年にわたる地域での活動を通して、「人さえ良ければ」何事も上手くいくという確信を持っています。また、効果的な取り組みが成果を挙げているところにも数多く視察などに赴きました。その結果、「人さえ良ければ」という確信は深まるばかりです。

そうした考え方に基づき、人づくりの大切さについて、市長



及び教育長に質しました。とはいえ、質問時間は限られています。今回は、現在津山市で取り組みが進められているコミュニケーションスクールについて、的を絞って質問をしました。

本市のコミュニケーションスクールは、既にモデル校の東中で取り組まれています。私は、まず、そこでの課題や対応策を確認しました。そのうえで、コミュニケーションスクールを成功に導くために、基幹となる学校運営協議会の重要性を指摘しました。

地域の特性や事情を踏まえながら、教育委員会や校長の持つ教育理念がきちんと投影されるように、既存の学校評議委員などの意見を充分に取り入れ、柔軟で機能的な学校運営協議の構築を図るよう求めました。

答弁内容

市長からは、「新たな日常」の浸透による都会から地方への流

れを的確に捉え、生産性の高い分野の雇用創出や、地域内経済循環を高めるサプライチェーンの構築、若者が安心して子育てでき、今後の成長分野で、本市の歴史や文化などの地域資源を活かして、新たなビジネスを創業してみたいと思えるまちづくり、基盤整備を進めることが、有効な手段と考えるという答弁がありました。

また、RXの動きを、将来のために発想の転換や意識改革を必要とする大きな分岐点と捉え、市全体として取り組んでいきたいという答弁もいただきました。

併せて、職員が力を充分に発揮し、組織力を最大限に高めることができるよう、人材育成と組織強化を図りたいという、機構改革への意気込みも示されました。

教育長からは、地域の将来を担う人材の育成は、本市の学校教育の使命であるという考え方のもと、地域と一体となって人づくりを進めるためにも、コミュニケーションスクール導入を着実に実行していきたいという答弁をいただきました。

終わりに(定数削減)

誌面の関係で、触れることができありませんでしたが、津山市議会では、議員会議の場で定数削減の議論が行われています。依然として、削減すべしという意見と、反対する意見が拮

抗していますが、会派未来としては四名削減を強く主張し、積極的に議論に参加しています。※私自身は、公約にも示している通り七名減の定数二十一(一委員会七名×三委員会)ですが、今回の選挙に反映させるためには、この三月議会までに議決する必要があります。多くの市民から削減を求める声を聴いています。しっかりと取り組んでいく所存です。市民の皆様も、議会における議論の行方を、十分に注視していただくようお願いいたします。

これからも、市民の思いを形にし、津山市の将来のために資する施策実施に取り組んでいきたいと考えています。今後とも、よろしく願いいたします。



会派未来

活気ある津山へ
未来志向改革!!

政岡あきひろ事務所 Tel. 0868-28-0501
〒708-0014 津山市庄院 621-2 Fax. 0868-28-4437
E-mail masaokape@ebony.plala.or.jp

市議会の内容は津山市役所ホームページから配信しております。
URL <https://www.city.tsuyama.lg.jp/city/index2.php?id=392>
右記QRコードから入る事ができます。➔



様式第3号 (第3条関係)

支 出 伝 票

支出日	令和 4 年 1 月 5 日		
費 目	1. 調査研究費、要請・陳情活動費 2. 研修費、会議費 3. 広報費 4. 広聴費 5. 資料作成費 6. 資料購入費 7. 人件費 8. 事務所費	金 額	160,608 円

支出内容	議会報告 No26・No27 (1,912 枚) 送信費
------	------------------------------

領収書等貼付欄 (支払証明書等は裏に添付のこと)

領 収 証 政岡あきひろ 様 No. _____

★ ￥ 160608 =

1912枚分として

2022年 1月 5日 上記正に領収いたしました

内 訳	_____	但
現 金	_____	
小切手	_____ /	
手 形	_____ /	
消費税額等(%)	_____	

津山市院庄954
院庄簡易郵便局
電話 0868 (28) 1996
郵便番号 708-0014



領収書

第 187385-18 号

おなまえ	政岡 五きひろ 様		<領収内訳>	<備考>
受領金額	百万	千	現金	円
	160	608	小切手	円
			切手	円
			証紙	円
			キャッシュレス決済	円
			(決済ブランド名:))
※ 金額欄を訂正しているものは無効です				

お取引の内容	
郵便	切手・葉書・印紙・販売品の販売 郵便料金の収納 (別納 計器予納金 受取人払 着払 その他)
貯金	
保険	保険料の払込み 保険証券(書)の記号番号 払込期間及び払込月数
物販等	店頭販売商品の販売 カタログ販売 その他()

上記の金額を、確かに領収いたしました。

2022 年 1 月 5 日

日本郵便株式会社

(所在地: 東京都千代田区大手町2丁目3番1号)

取扱郵便局

院庄簡易郵便局 郵便局

電話番号

0368-28-1996

取扱者氏名



【郵便局】
収入印紙

課税相当額
以上貼付

取扱者
印

※ 裏面の「ご注意」欄をご確認ください。

第 187385-18 号

様式第3号 (第3条関係)

支 出 伝 票

支出日	令和 4 年 3 月 30 日		
費 目	1. 調査研究費、要請・陳情活動費 2. 研修費、会議費 3. 広報費 4. 広聴費 5. 資料作成費 6. 資料購入費 7. 人件費 8. 事務所費	金 額	82,500 円

支出内容	議会報告 No.28 (3,500 枚)
------	----------------------

領収書等貼付欄 (支払証明書等は裏に添付のこと)

領 収 証 RECEIPT	No. 010562	
	R4 年 3 月 30 日	
政 團 哲 弘 様		
金 額	百万 千 円 8 2 5 0 0	現金 小切手
但し 議会報告 Vol.28 3,500枚印刷代222 上記の金額正に領収いたしました		
	有限会社 片山印刷所 〒708-0042 岡山県津山市新幸町18番地 TEL (0853) 22-1229代	取扱者

津山市議会議員

政岡あきひろ

議会報告

津山市の皆様には議会活動などをわかりやすく報告し、市政に関心を持っていただくために発行しています。この報告紙は政務活動費で発行しています。



いあいさし

津山市民の皆様、いつも大変お世話になっております。「政岡あきひろの議会報告」第二十八号が、出来上がりしましたのでご覧いただきたいと思っております。

いつも申し上げておりますが、この議会報告は、新聞や広報誌、或いはYouTube等の媒体では伝えきれない、生の津山市議会の様子や、議員としての私の活動内容について、わかりやすくお伝えするために作成しています。



代表質問

毎年、三月議会においては、各党派による代表質問が行われるのが通例です。私も、会派未来を代表して登壇し、代表質問を行いました。

一方、この三月議会に上程された令和四年度予算は、二月に行われた市長選挙直後ということもあり、骨格予算となりました。また、通常市長により示されるはずの所信表明も、六月議会においてされることとなりました。

本来、代表質問はその所信表明を受けて行うべきものではあります。しかしながら、つい先日市長選挙を終えた市長の思いを聴き、二期目の市政運営に臨む考え方を質すことは、私達議員に課せられた二元代表制の責務を果たすことに他なりません。そのような視座に立ち、私達は日頃市民の（ ）からお寄せいた

く声を集約したうえで、会派内で議論を重ねて代表質問としての質問内容を組み立てていきました。そのうえで、私が会派を代表して一般質問に臨みました。

具体的な内容

まずは、厳しい寒さが続く中、厳しい選挙戦となった市長選挙の内容に言及しました。現在の、インターネットが普及し、SNSなどによる過激な発言が飛び交う状況下、そこまで言って良いのかとか、或いは、出典はどこにあるのかなど、所謂「言ったもの勝ち」の様相は深まるばかりです。

今回の市長選挙においても、そのような過激な書き込みを多々目にしました。そして、そこで見られた問題点や争点を何点か取り上げ、市長選挙を総括した質問としました。具体的な項目としては、次のようなものです。

- ・太陽光発電に関して、市長が高額接待を受け便宜を図ったとされる、ネット記事に関する事実内容の確認。
- ・旧城南医院跡地買収における計画の内容と、国庫補助金など財源及び、土地査定や買収金額の設定に関する事項。
- ・市道B八〇号に関する設計の考え方と、用地買収における経緯の確認。

※これらのことに関し、市長による不当な指示や、職員の忖度があったかどうかについては、

市民皆様の関心が高いものでもあると思えます。

次に、新型コロナウイルス感染症に関して、私達が生きていくうえで欠くことのできない経済活動との両立を踏まえ、コロナ禍後も見据えた本市の施策実施の方向性について、市長の考えを質しました。

また、当面の課題である、市民の感染防止策について、第三回目以降のワクチン接種の状況や進め方について、さらには、我が会派として日頃から疑問に感じている、市民に対する「どのような数値に着目し、どのように行動すべきなのか」という効果的な情報提供のあり方について執行部を質しました。

続いて、産業振興策という視点から、津山流通センター及び久米産業団地の立地率が九十%を越えた現在、新たな企業立地



▲裏面に続く

会派未来

発行 政岡あきひろ事務所
活気ある津山へ 未来志向改革!!

〒708-0014 津山市院庄 621-2
Tel. 0868-28-0501 Fax. 0868-28-4437
E-mail masaokape@ebony.plala.or.jp

市議会の内容は津山市役所ホームページから配信しております。
[URL] <https://www.city.tsuyama.lg.jp/city/index2.php?id=392>

のために必要と考えられる工業団地等の整備について、コストダウンの手法や用地選定に関する事項について質問しました。

また、産業振興策としては、今回は農地の利活用に関する本市独自といえる取り組みや、踏み込んだ支援策の必要性に関する質問も行いました。この際、農地付物件を取得する移住者への支援策も訴えました。

次に、移住・定住支援策という視点から、現在の仕事・移住支援室で行われている積極的な取り組みを評価したうえで、今後におけるさらなる移住・定住支援策を質しました。

また、私は常々述べておりますが、優れた教育環境の構築や学力水準の向上を図ることが、移住・定住の強いインセンティブになると考えています。このことに基づき、教育、住民自治支援、そしてそれらを通じた人づくりの大切さについて、何点か質問しました。

具体的には、GIGAスクールや先進的なICT教育に積極的に取り組む為の通信環境整備の現状と今後の方向性について質しました。併せて、令和三年度の総括と来年度の重点項目に関する質問もしました。

さらに、我が国全体における経済的な疲弊を背景に、高齢化や人口減少が大きく影を落とす地方の地域社会における住民自治活動に対する、行政による踏



み込んだ支援策の必要性について執行部を質しました。

そして、質問の締めくくりとして、それらの施策実施のために必要な、トップの意思を理解しフットワーク軽く動け、かつ内部統制のとれた組織体制の構築の重要性を説き、行財政構造改革に臨む市長の考え方を質しました。最後に、私がいつも述べている「人さえ良ければ」という考え方に立つ、人づくりの大切さについて、市長の思いを聴きました。

答弁内容

市長からは、まず、市道B八〇号や城南医院跡地買収のような社会資本整備や、太陽光発電事業などの許認可に際して、特定の誰かに便宜を図るような指示はしていないという明確な答弁がありました。これに関して、執行部（企画財政部長）からも、そのような付度はしていないという答弁がありました。

また、市長からは、感染症収束後を見据えた施策実施の方向性に

ついて、「ローカルファースト」の視点に立ち、本市独自の取り組みを実施していく方針であるという答弁がありました。さらに、産業振興策、移住定住推進策、自治体DXを含めた機構改革、行財政構造改革の推進、などに関する答弁がありました。最後に、市長は人づくりの大切さに関する思いも述べられました。

一方、教育長からは令和三年度の総括と、令和四年度の重点項目が示され、学力調査で明らかになった読解力の向上に取り組みことや、不登校・長期欠席の早期発見・早期対応に努めたという答弁がありました。併せて、通信環境の充実を図り、さらなるICT教育の推進に取り組みするという答弁もありました。

また、ワクチン接種に関することも保健部長からの答弁では、三回目の接種率においても本市は全国平均や県平均を上回っているとの答弁がありました。さらに、住民が感染対策を講じるうえでより有効な情報提供を努めたいという答弁もありました。

さらに、農林部長からは農地の利活用に対して、地域振興部長からは住民自治支援に関して、担当部署の強化を図りたいという答弁もありました。

終わりに

今議会では、市長選挙を終えたばかりの谷口市長の二期目に臨む思いを聴き、それぞれの課

題や施策実施について、会派を代表して質問しました。

誌面の関係で、詳細に触れることは出来ませんでした。本会議中継はユーチューブ等でも見られますので、是非ご覧ください。また、津山市政に関するなどで、お尋ねになりたいことがあれば、気軽に声をかけてください。

今後も、市民の皆様の思いを形にし、津山市の将来のために資する施策実施の実現を図るために、精一杯取り組みでいく所存です。引き続き、変わらぬご指導ご鞭撻を、よろしくお願いいたします。

※末尾になりましたが、本議会において三名の定数削減が発表されました。今後においても引き続き取り組みでいきます。



会派未来

